



静岡県第4次地震被害想定レベル1
津波対策の施設整備による減災効果

※レベル1、2の説明は、次ページをご覧ください。

焼津市全域における浸水面積の減災効果 (km²)

浸水深	1m未満	1m以上	2m以上	5m以上	合計	対策後	合計
レベル1	1.3	0.2	0	0	1.5	→	0

※この減災効果は、レベル1津波対策施設の高さや構造が地震・津波発生時にも維持され、その効果が最大限発揮された場合の評価を静岡県が独自に行ったものです。今後、国土交通省などから新たな知見が示された場合には、必要に応じて見直しが行われます。

「安心」と「浸水^{ゼロ}」を目指して

約 15.5 kmの海岸線を有する本市では、まず市民の「命を守る」こと、次に「財産を守る」こと、そして産業の継続性を維持するための「生産活動を守る」ことが最重要課題です。市では、喫緊の課題である地震・津波災害に強いまちづくり

を進めていくため、国や県と連携し、さらには市民の皆さんとともに、ハード・ソフト両面のさまざまな施策によって、安心・安全に暮らせるまちの実現を目指しています。